



工房全景



展示室風景



陶印



村山 健太郎
Kentarou Murayama

唐津市出身。茶碗への憧れから唐津焼の世界に。
窯業大学を卒業し、川上清美師のもとで修業した後、浜玉に開窯・独立。

- 駐車場 (3~4台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

健太郎窯



1つ1つに自由と意思を。

量産的なものづくりではなく、1つ1つ手作りでつくる唐津の表情豊かな茶碗をつくりたくてこの世界へ。窯業学校を卒業し、師匠川上清美さんの元で修業した後、独立。

唐津焼の魅力は「未知数」と語る健太郎さん。自分の作りたいたいものを作り出すための努力と研究は欠かさない。現在積極的に取り組んでいるのが、無地唐津や朝鮮唐津。特に朝鮮唐津は登り窯でつくと難しく、技術的に挑戦するのが面白いと話す。

「自分の意思を1つ1つ込められるところがこの仕事の良いところ」唐津湾が見渡せる借景の工房に並べられた作品には、彼の自由な発想や暮らしへの感性が映し出されている。



唐津市浜玉町横田下 1608-2
TEL.0955-56-2358